

引用文献・参考資料（順不同）

- No 著者・発行者名：文献名 発行所 発行年月
- 1 關伽出甕：「中国正史に見る天皇家の祖神」(2) <http://accord.at.infoseek.co.jp/BIGLOBE/nip16225.htm>
 - 2 伴 昌広：古代史の復元 <http://www.geocities.jp/mb1527/index.htm>
 - 3 朴 炳植著：日本原紀 情報センター出版局 1987年6月
 - 4 玄松子：延喜式神名帳 <http://www.genbu.net/engi/index.htm>
 - 5 長部日出雄：「古事記」の真実 株式会社文藝春秋 2008年8月
 - 6 宝来 聰：DNA人類進化学，岩波科学ライブラリー52(岩波新書) 1998年4月(第3刷)
 - 7 李連慶・池上正治編：アジア遊学 No 52 特集「徐福」 勉誠出版 2003年6月
 - 8 桂川光和：日本建国史 <http://www.max.hi-ho.ne.jp/m-kat/nihon/index.html>
 - 9 山下重良：乗っ取られた飛鳥朝廷 http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/1Onotori.pdf
 - 10 井上修一：邪馬台国大研究 <http://inones.net/> (株)梓書院 2009年1月
 - 11 石原道博編訳：新訂 魏志倭人伝 他三編(岩波文庫)、岩波書店、1951年
 - 12 龜山 勝：中国大陸・日本列島・朝鮮半島関連歴史年表 Webサイト
 - 13 神 一行：消された大王・饒速日 学習研究社 2000年9月
 - 14 神服部宿禰兼行：真説日本古代史 <http://www2.plala.or.jp/cygnus/>

- 15 神奈備：延喜式神名帳 神社一覽 <http://kannavi.jp/en/index.htm>
- 16 金田一春彦他編著：国語大辞典・小学館・1986年
- 17 小島憲之他（校注・訳者）：日本書紀（1～3）．小学館・日本古典文学全集・1996年
- 18 高坂和導：竹内文書．徳間書店．1995年
- 19 高坂和導：竹内文書Ⅱ．徳間書店．1995年
- 20 宮下文夫：古代史ロマㇺ．<http://kodaiyujin.fc2web.com/mokuji.html>
- 21 中丸 薫：古代天皇家と日本正史．徳間書店．2004年9月
- 23 小椋一葉：消された霸王．河出文庫．2005年2月
- 24 池田仁三：古代の日中交流(その源流を探る)．<http://www1.ocn.ne.jp/~jin/KORY.htm>
- 25 佐伯有清：魏志倭人伝を読む 上・下（歴史文化ライブラリー）．吉川弘文館．2000年
- 26 相模原駿河：日本の歴史（日本列島の足跡）<http://www.eva.hi-ho.ne.jp/suruga/japankokogaku2.htm>
- 27 佐藤洋一郎：DNAが語る稲作文明↑起源と展開．日本放送出版協会．1996年
- 28 瀬祭主人：三國志 魏書 卷三十 東夷伝 倭人条．http://www001.upp.so-net.ne.jp/dassai/gishi/gishi_framepage.htm
- 29 松田文夫編：紀州豪族史料．自費出版．平成十九年(第三版)
- 30 竹田昌暉：日本書紀の謎．徳間書店．2004年
- 31 井上赳夫：陵・宮跡碑石墓誌解説による上代天皇系譜年表(自筆データ)．平成3年1月
- 32 鳥居竜蔵：有史以前の日本．1918年

- 33 坂本太郎他校注：日本書紀（上）。岩波書店。昭和42年3月
- 34 山口佳紀・神野志隆光：古事記。小学館・日本古典文学全集。1997年
- 35 吉留路樹：倭国ここに在り。葦書房。1991年
- 36 古田武彦：古田史学の会・北海道ニュース第五号。1996年7月 <http://www.furutasigaku.jp/furuta/jnhon.html>
- 37 瀬祭主人：鎌足伝大織冠伝 http://www.004.upp.so-net.ne.jp/dassai1/kaden/kaden00_frame.htm
- 38 渡辺裕司：最新日本古代史。 <http://yujiwww.web.infoseek.co.jp/h-kodaishi1.htm>
- 39 塚田敬章：饒速日の国譲り。 <http://www.eonet.ne.jp/~tenb/6/Zyomon2.htm#四>
- 40 塚田敬章：古代史ホームページ。 <http://www.eonet.ne.jp/~tenb/>
- 41 日本歴史研究室：古代史。 <http://www8.tok2.com/home2/rekishu/>
- 42 伊太祁曾神社：紀伊国祖神。伊太祁曾神社
- 43 原田常治：古代日本正史。(株)同志社。1989年
- 44 次田真幸 全訳注：古事記(全三巻)。2006年4～6月50刷。株式会社講談社
- 45 倉橋日出夫：古代出雲と大和朝廷の謎。学研M文庫
- 46 山下重良：建国の始祖王 須佐之男尊。 http://www.syanashita.net/history/kodai_pdf/3susanoo.PDF
- 47 日根輝己：紀氏は大王だったー消された邪馬臺国東遷と紀氏東征。燃焼社。平成7年
- 48 石渡信一郎：聖徳太子はいなかった。一三書房。2001年
- 49 瀧音能之：古事記と日本書紀。株式会社青春出版社。2005年

- 50 高野山文書刊行会編：旧高野領内文書（三）．昭和14年
- 51 大野七三：日本建国神代史．批評社．2004年
- 52 井沢元彦：逆説の日本史．小学館．2001年
- 53 吉村菊之丞：大三輪の神 大物主．<http://www1.kcn.ne.jp/~kikujo/>
- 54 大庭豊広：連立王朝 大和朝廷．<http://www.sol.dti.ne.jp/~toy-ohba/renrisu.html>
- 55 瀬祭主人：宋史 卷四九一 外國伝 日本國 http://www.w001.upp.so-net.ne.jp/dassai/soushi/frame/soushi_frame.htm
- 56 後藤 隆：先代旧事本紀大成経．株式会社徳間書店（東京）．2004年10月
- 57 井上赳夫：日本古代史の謎は解けた．大陸書房（東京）．昭和61年4月
- 58 池田仁三：墓碑から卑弥呼を確定する <http://www1.ocn.ne.jp/~jin/HIMIKOK.html>
- 59 池田仁三：古墳墓碑（上下2冊）．株式会社青林堂．平成25年5月23日（初版）
- 60 鳥越憲三郎：中国正史 倭人・倭国伝全訳．中央公論新社．2005年10月
- 61 安本美典：古代物部氏と「先代旧事本紀」の謎．勉誠出版（株）．平成15年6月
- 62 菅野雅雄訓読：先代旧事本紀．新人物往来社．2008年
- 63 関 裕二：神話に隠されている日本創世の真実．株式会社 文芸社．2005年8月
- 64 中西正和：歴史データベース．<http://macao.softvision.co.jp/dbpwww/index.html>
- 65 黒岩重吾：古代史を解く九つの謎．PHP研究所．2003年
- 66 関 裕二：消された王権・物部氏の謎．PHP研究所．2003年

- 67 関 裕二：蘇我氏の正体。東京書籍株式会社。2005年
- 68 黒板勝美編：日本書記（上）。岩波書店。昭和18年
- 69 坂本太郎 他校注：日本書記（下）。岩波書店。2003年5月
- 70 青木和夫 他校注：続日本紀（一～五）。新日本古典文学大系。岩波書店。2005年
- 71 上野 誠 他：三輪山の古代史。株式会社学生社。2004年
- 72 石上神宮：石上神宮。石上神宮。2003年1月
- 73 三好和義他：日本の古社 大神神社。株式会社淡交社。2004年2月
- 74 関 裕二：古代史 謎解き事典。株式会社三修社。2006年5月
- 75 関 裕二：古代史 謎解き紀行Ⅰ ヤマト編。株式会社ポプラ社。2006年3月
- 76 関 裕二：古代史 謎解き紀行Ⅱ 出雲編。株式会社ポプラ社。2006年4月
- 77 関 裕二：古代史 謎解き紀行Ⅲ 九州邪馬台国編。株式会社ポプラ社。2006年5月
- 78 高島精二 訳：秀真伝え（翻訳）。<http://www.hotsuma.gr.jp/>
- 79 梅原 猛：神々の流竄。株式会社集英社。2002年6月
- 80 山下重良：邪馬台国の建国から女王卑弥呼の時代。紀の川市桃山歴史の会。平成22年9月
- 81 石上神宮発行：石上神宮。2003年
- 82 三浦祐之：金印偽造事件。株式会社幻冬社。2006年
- 83 関 裕二：出雲抹殺の謎。PHP研究所。2007年

- 84 金容雲：日本語の正体。株式会社三五館。2009年
- 85 佐伯有清 編訳：三国史記倭人伝。株式会社岩波書店。1988年
- 86 藪内虎彦編著：桃山町史。桃山町。昭和四十七（1972）年十月
- 87 東京大学史料編纂所：大日本古文書・高野山文書（一～八）。東京大学出版会。明治40年（復刻版）
- 88 佐治芳彦：謎の宮下文書。株式会社徳間書店。1984年
- 89 仁井田好古ら編著：紀伊統風土記第一～五輯。臨川書店。天保十年（復刻版）
- 90 山下重良：大和国建国の覇王 大歳尊。 http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/4ootoshi.pdf
- 91 桂川光和：勘注系図から探る欠史八代の実年代 <http://www.max.hi-ho.ne.jp/m-kav/nihon/6-6syodai.htm>
- 92 大平 裕：日本古代史 正解 纏向時代。株式会社講談社。2010年5月
- 93 石原道博 編訳：新訂旧唐書倭国日本伝・宋史日本伝他。株式会社岩波書店。2008年6月（第48刷）
- 94 神道編纂会：神道大系古典編十三海部氏系圖。平成四年三月
- 95 北川和秀：新撰姓氏録氏族一覽 <http://homepage1.nifty.com/k-kitagawa/data/shoji.html>
- 96 藤堂明保 他編：漢字源。株式会社学習研究社。2007年11月（改訂第四版）
- 97 榊原康彦：天武天皇の秘密と持統天皇の陰謀。彩流社。2006年2月
- 98 森博達：日本書紀の謎を解く。中央公論社。1999年10月
- 99 石渡信一郎：蘇我馬子は天皇だった。株式会社一三書房。1993年2月
- 100 渡辺長義：探求 幻の富士古文献。今日の話題社。2002年

- 101 (財)桜井市文化財協会：桜井・発掘調査現場から。平成11年3月
- 102 佐伯有清：新撰姓氏録の研究 本文篇。吉川弘文館。昭和37年7月
- 103 吉田大洋：謎の出雲帝国―怨念の日本原住民氏・天孫一族に虐殺された出雲神族の怒り。徳間書店
1980年
- 104 関 裕二：天武天皇 隠された正体。ベストセラーズ。1994年10月
- 105 黒板勝美等編：国史大系3(続日本後紀他)。株式会社吉川弘文館。昭和41年8月30日
- 106 森田 悌：日本後紀(上・中・下)。株式会社講談社。2006年10月～2007年2月
- 107 古田武彦：「邪馬台国」はなかった。朝日新聞社。1993年1月
- 108 歴代の暦法：ウイキペディアフリー百科事典。
- 109 進藤孝一：秋田「物部文書」伝承。無明舎出版。1990年3月(四版)
- 110 大野七三：皇祖神饒速日大神の復権。批評社。2006年11月
- 111 山下重良：聖徳太子は日本書紀の創作だった。http://www.syamashita.net/history/kodai_pdf/12syoutoku.pdf
- 112 小路信次：卑弥呼 千七百年の謎を解く。株式会社近代文芸社。2005年5月
- 113 桜井徳太郎 校注：寺社縁起 元興寺伽藍縁起並びに流記資料帳。岩波書店。1975年
- 114 黒板勝美編：国史大系第六十卷下 尊卑分脈第四編。株式会社吉川弘文館。昭和39年7月
- 115 公卿類別譜：http://www.geocities.jp/okugesan_com/index.html
- 116 僧皇円著(田中孝顕)：扶桑略記。http://www.umoregi.com/koten/fusoryakki/
- 117 洞院満季編：本朝皇胤紹運録。大正4年書写(早稲田大学古典籍総合データベース)

- 118 田中 卓：紀氏家牒。 <http://kannavi.jp/ki/kisinote.htm>
- 119 関 裕二：日本古代史 謎と真説。株式会社学習研究社。2005年5月
- 120 関 裕二：入鹿と鎌足。株式会社学習研究社。2007年
- 121 梅原 猛：葬られた王朝。新潮社。2010年4月
- 122 那賀郡役所編：那賀郡誌(上・下二巻)。那賀郡役所。大正12年
- 123 岩橋小弥太：日本の国号。株式会社吉川弘文館。昭和四十五年九月
- 124 山下重良：太古の浪漫 弥生文明を先導した徐福。 http://www.syanashita.net/history/kodai_pdf/2johuku.pdf
- 125 司馬遷撰：小竹文夫・小竹武夫訳。史記全八巻。株式会社筑摩書房。2009年
- 126 武光 誠：蘇我氏の古代史。株式会社平凡社。2008年5月
- 127 津田左右吉：神代史の新しい研究 古事記及び日本書紀の新研究。岩波書店。1966年
- 128 白井永二・土岐昌訓編：神社事典。株式会社東京堂出版。1997年9月
- 129 大津透 他：古代天皇制を考える。株式会社講談社。2009年3月
- 130 神社新報社：全国著名神社名鑑。神社新報社。平成十七年三月
- 131 谷川健一：隠された物部王国「日本」^{ヒノモト}。株式会社情報出版局。2008年8月
- 132 安藤精一・五来 重編：日本歴史地名大系31巻。株式会社平凡社。1983年2月
- 133 小島憲之他校訂・訳：日本書紀下・風土記。株式会社小学館。2007年9月
- 134 佐治芳彦：「禁断の古史古伝」九鬼文書の謎。株式会社経済界。2003年2月

- 135 関 裕二：日本を不幸にした藤原一族の謎。PHP研究所。2006年10月
- 136 青木紀元監修：「古語拾遺」を読む、株式会社右文書院、平成十六年十二月
- 137 小林恵子・井沢元彦：「記紀史学」への挑戦状。株式会社現代思潮社。1998年10月
- 138 佐治芳彦：謎の竹内文書。株式会社徳間書店。1979年
- 139 森浩一：記紀の考古学。朝日新聞社。2005年2月
- 140 荻原千鶴(全訳注)：出雲風土記。株式会社講談社。1999年6月
- 141 笹山晴生他編：詳説日本史史料集。株式会社山川出版社。2007年1月(再訂版)
- 142 原田常治：上代日本正史。(株)同志社。昭和53年9月
- 143 大山誠一：^聖徳太子^の誕生。吉川弘文館。1990年
- 144 梅原 猛：聖徳太子 1. 集英社。1993年
- 145 梅原 猛：聖徳太子 2. 集英社。1993年
- 146 梅原 猛：聖徳太子 3. 集英社。1993年
- 147 梅原 猛：聖徳太子 4. 集英社。1993年
- 148 久米那武：上宮太子実録。上宮教会出版部蔵版。明治三十八(1905)年四月十日
- 149 津田左右吉：日本古典の研究(下)津田左右吉全集2。岩波書店。1950年
- 150 梅原 猛：隠された十字架―法隆寺論。株式会社新潮社。平成17年
- 151 井上光貞・他：歴史散歩辞典。山川出版社。2001年

- 152 瀬祭主人：上宮聖徳法王帝説。 http://www004.upp.so-net.ne.jp/dassai/taisetsu/frame/taisetsu_frame.htm
- 153 関 裕二：聖徳太子は蘇我入鹿である。株式会社晋遊舎。2012年4月
- 154 中田祝夫全訳注：日本霊異記(全三巻)。株式会社講談社 1978年～1980年
- 155 ウィキペディア (Wikipedia)：フリー百科事典。Webサイト
- 156 関 裕二：聖徳太子の謎。PHP研究所。2005年
- 157 谷沢永一：聖徳太子はいなかった。株式会社新潮社。2004年5月
- 158 新谷尚紀：伊勢神宮と出雲大社。株式会社講談社。2010年5月
- 159 桃山町誌編纂委員会：桃山町誌「歴史との対話」。和歌山縣桃山町。平成十四年三月
- 160 山下重良：調月の歴史「調月の地名起原」。 <http://www.syamashita.net/history/tsukatuki/>
- 161 国立科学博物館：日本人はるかかな旅展 <http://www.kahaku.go.jp/special/past/japanese/ipix/index.html>
- 162 龜山 勝：中国大陸・日本列島・朝鮮半島関連歴史年表 <http://www2.odn.ne.jp/~nov.hechima/kenpyou.html>
- 163 小浜基次：生体計測学的にみた日本人の構成と起原に関する考察，人類学研究 7 (1, 2) 1960年
- 164 鳥居竜蔵：有史以前の日本，一九一八年
- 165 清野兼次・宮本博人：津雲石器時代人はアイヌなりや，考古学雑誌 16 (8)，1927年
- 166 長谷部言人：太古の日本人，人類学雑誌 55 (1)，1940年
- 167 長谷部言人：日本民族の成立，新日本史講座，1949年
- 168 鈴木尚：本州北端に於ける近世アイヌの痕跡について，人類学雑誌 62 (1)，1951年

- 169 岡村道雄：「日本旧石器時代史」．一九九〇年
- 170 小浜基次：生体計測学的にみた日本人の構成と起原に関する考察，人類学研究 7 (1, 2) 1960年
- 171 宝来 聰：DNA人類進化学，岩波科学ライブラリー 52．岩波書店．1997年7月
- 172 埴原和郎：シミュレーションによる古代日本への渡来者数の推理，人類学雑誌 95 (3) 1987年
- 173 森 浩一：日本神話の考古学．朝日新聞社．1999年
- 174 前田 豊：東三河と徐福伝説 <http://homepage2.nifty.com/kodaishinto/page004.html#徐福伝説>
- 175 小山田 浩：中国における徐福の記録
- 176 井上修一：徐福伝説「秦の始皇帝をだました男」 <http://inoues.net/mystery/jyofuku.html>
- 177 いき一郎：徐福集団渡来と古代日本．三一書房．1996年
- 178 三谷茉沙夫：徐福伝説の謎．三一書房．1992年
- 179 宇田明男：医学史からみた徐福の研究．東洋医学史研究会会報．1989―2000年
<http://kanenasa-web.hp.infoseek.co.jp/data5/fu.htm>
- 180 岡本嘉六：徐福伝説と稲の道． http://vetweb.agri.kagoshima-u.ac.jp/vetpub/Dr_Okamoto/Jofuku/
- 181 池田仁三：古代の日中交流(その源流を探る) <http://www1.ocn.ne.jp/~jin/KORY.htm>
- 182 八木 敦：徐福伝説 <http://www.asukanet.gr.jp/tobira/jofuku/jofuku.htm>
- 183 田中孝顕・扶桑略記 <http://www.umoregi.com/koten/fusoryakki/index.html>
- 184 関 裕二：なぜ「日本書紀」は古代史を偽装したのか．実業の日本社．2008年12月

- 185 関 裕二：壬申の乱の謎。PHP研究所。2003年6月
- 186 三浦佑之 古事記「序」は後世の偽書。文藝春秋。株式会社文藝春秋。平成19年5月号
- 187 上垣外憲一：古代日本 謎の四世紀。株式会社学生社。2011年3月
- 188 金容雲：「日本Ⅱ百済」説。株式会社三五館。2011年4月
- 189 上垣外憲一：倭人と韓人。株式会社講談社。2003年11月
- 190 応請矩明：「日本」という国号。http://bell.jp/pancho/k_diary-2/2008_04_23.htm
- 191 三浦一郎：九鬼文書の研究。皇道宣揚会。昭和16年11月
- 192 児玉幸多監修：県史シリーズ(全47冊)。山川出版社。昭和45年
- 193 関 裕二：大化の改新の謎。PHP研究所。2002年7月
- 194 瀬祭主人：「懐風藻」葛野王。http://www004.upp.so-net.ne.jp/dassai1/kainuusou/05kadono/kainuusou_kadono_frame.htm
- 195 高市志友編。紀伊国名所図会六之卷下(那賀郡)。文化九(1812)年正月。帯屋伊兵衛出版(復刻)
- 196 高野 勉：聖徳太子暗殺論。光風社出版。昭和六十年十一月
- 197 野中寺編：野中寺略縁起。野中寺発行
- 198 南向山西方院編：西方院縁起。西方院発行
- 199 聖徳太子御廟所 磯長山叡福寺：河内国上之太子 磯長山叡福寺縁起
- 200 玄松子：玄松子の記憶。http://www.genbu.net/
- 201 遠山美都男：蘇我氏四代の冤罪を晴らす。株式会社学習研究社。2008年11月

- 202 森田悌：続日本後紀(上・下)。株式会社講談社。2010年11月
- 203 武田祐吉・佐藤謙三訳：訓読日本三代実録。株式会社臨川書店。昭和六十一年四月
- 204 森博達：日本書紀成立の真実―書き換えの主導者は誰か。中央公論社。2011年11月
- 205 佐伯有清：新撰姓氏録の研究 拾遺篇。株式会社吉川弘文館。201年8月
- 206 高木神元：空海―生涯とその周辺。株式会社吉川弘文館。2009年4月(復刻)
- 207 Wikipedia フリー百科事典：空海。Webサイト
- 208 NHK大阪放送局編：空海と高野山。2003年4月
- 209 池上洵一編：今昔物語集 本朝部(上・中・下)。株式会社岩波書店。2001年5月
- 210 小椋一葉：空海はどこから来たのか。株式会社河出書房新社。2012年3月
- 211 竹中佳子：高野山信仰と参詣。桃山歴史の会誌第38号。2012年5月
- 212 日野西真定編：新校高野春秋編年輯録。名著出版
- 213 橋本義彦著：平安宮廷と貴族。(株)吉川弘文館。平成8年12月
- 214 総本山金剛峯寺編：高野山文書(一〜七卷)。歴史図書社。昭和48年8月
- 215 日本地名大辞典編纂委員会編：日本地名大辞典30(和歌山県)。角川書店。昭和63(1988)年
- 216 松田文夫：高野山領紀伊国荒川庄史。自费出版。平成8年2月
- 217 高野山文書刊行会編：旧高野領内文書(三)。昭和14年
- 218 和歌山県史編纂委員会：和歌山県史。和歌山県。昭和45年

- 219 和歌山県史編纂委員会：和歌山県史古代史料・和歌山県。昭和45年
- 220 松田文夫：和歌山県桃山町史年表。自費出版。平成14年5月
- 221 下中邦彦編：日本歴史地名体系31巻 和歌山県の地名。株式会社平凡社。昭和58(1983)年2月
- 222 梶原正昭 校注訳：義経記 新編日本古典文学全集62。小学館。2000年1月
- 223 長谷川瑞 校訂訳：太平記(第一・四十巻全四冊)。小学館。1998年7月～2004年5月
- 224 松田文夫：歴史・紀伊国貴志川―貴志川流域史概観。自費出版。平成七年二月改訂版
- 225 藤堂明保 他全訳注：倭国伝(中国正史に描かれた日本)。株式会社講談社。2010年9月
- 226 笹山晴生・五味文彦・吉田伸之・鳥海靖編著：詳説「日本史料集」2007年1月(再訂版)
- 227 日本歴史大事典編集委員会編：日本史年表。河出書房新社。1998年3月(第四版)
- 228 末本文美士：日本仏教史。株式会社新潮社。平成8年9月
- 229 尚学図書編集：故事ことわざの辞典。小学館。1986年
- 230 篠田謙一：日本人になった先祖たち。NHK出版。平成19(2007)年2月
- 231 鈴木正信：大神氏の分布とその背景(論文)。滋賀大学経済経営研究所(電子版)彦根論叢 2013年 spring / No. 395
- 232 鈴木正信：五ノ八世紀における大神氏の民族的展開。滋賀大学経済学部研究年報 Vol. 19 2012年
- 233 加藤兼吉他編著：日本古代史地名辞典。(株)雄山閣。平成19年10月10日初版
- 234 萱野 茂著：萱野茂のアイヌ語辞典。株式会社三省堂。1996年10月第三版
- 235 渡辺康則：捏造された天皇・天智(上下)。株式会社大空出版。2013年10月